

改訂日 2020年9月17日(第4版)

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	コラトップ® ジャンボP
会社名	シンジェンタジャパン株式会社
住所	〒104-6021 東京都中央区晴海1丁目8番10号オフィスタワーX 21階
担当部門	HSEグループ
電話番号	03-6221-1027
Eメールアドレス	SDS-JP@syngenta.com
緊急連絡先	同上
推奨用途及び使用上の制限	殺菌剤

2. 危険有害性の要約

GHS 分類		
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分 4
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2A
	特定標的臓器毒性(反復曝露)	区分 1(肺)
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	区分 1
	水生環境有害性(慢性)	区分 1
	* 記載がないものは「区分に該当しない(分類対象外を含む)」または「分類できない」	

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語:

危険

危険有害性情報

飲み込むと有害。

強い眼刺激。

長期にわたる、または反復曝露による肺の障害。

長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

水生生物に非常に強い毒性。

注意書き:

【安全対策】

この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしない。

保護手袋、保護眼鏡、保護マスク、保護衣、保護面を着用する。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しない。

取扱い後は、手や顔等をよく洗う。

必要な時以外は、環境への放出を避ける。

【応急処置】

飲み込んだ場合、気分が悪い時は医師に連絡すること。口をすすぐ。
 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用
 していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。眼の刺
 激が続く場合は、医師の診断あるいは手当てを受ける。
 気分が悪い時は、医師の診断あるいは手当てを受ける。
 漏出物を回収する。

【廃棄】

内容物又は容器を廃棄する場合は、該当法規に従い、都道府県知事
 等に許可された産業廃棄物処理業者に委託する。
 使用済みの容器は、他の用途に使用しない。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物
 化学名又は一般名 1,2,5,6-テトラヒドロピロロ[3,2,1-ij]キノリン-4-オン 混合物
 別名 ピロキロン製剤

成分	含有量(%)	化学式	官報公示 整理番号	CAS番号
ピロキロン	24.0	C ₁₁ H ₁₁ NO	8-(1)-1760 (安衛法)	57369-32-1
鉱物質微粉等	76.0	—	—	—

4. 応急措置

吸入した場合 被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
 気分が悪い時は、医師に連絡する。

皮膚に付着した場合 汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぐ。
 付着した製品を拭い取り、水又は微温湯で洗い流す。
 外観に変化が見られたり痛みが続く場合には、速やかに医師の手当てを受
 ける。

眼に入った場 直ちに清浄な水で洗浄する。
 洗浄の際、まぶたを指でよく開いて眼球、まぶたのすみずみまで水が行き
 わたるように洗浄する。
 コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗
 浄する。
 刺激が続く場合は、速やかに眼科医の手当てを受ける。

飲み込んだ場合 水で口の中を洗浄し、直ちに医師の手当てを受ける。
 無理に吐き出させない。
 被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。
 毛布等で保温して安静に保つ。

応急措置をする者の保 救助者は有害物質に触れないよう、手袋やゴーグル、マスク等の保護具を
 護 着用する。

5. 火災時の措置

消火剤	泡、粉末、二酸化炭素、水、砂
使ってはならない消火剤	特になし。
特有の危険有害性	火災によって刺激性又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。 危険なくできる時は燃焼の供給源を速やかに止める。 移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。 周囲の設備などに散水して冷却する。 消火活動は可能な限り風上から行う。
消火を行う者の保護	適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	漏出した場所の周辺にロープを張る等して関係者以外の立ち入りを禁止する。 作業の際は、必ず適切な保護具を着用し、漏出物との接触及び粉塵の吸入を避ける。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
封じ込め、浄化の方法及び機材除去	漏出したものをすくいとり、又は掃き集めて紙袋又はドラム等に回収する。
二次災害の防止策	付近の着火源となるものを速やかに取り除く。 危険なくできるときは、漏出源を遮断し、漏れを止める。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	<ul style="list-style-type: none"> ・換気のよい場所で取り扱う。 ・屋内で取り扱う場合は、「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。 ・吸入や皮膚への接触を防ぎ、眼に入らないように適切な保護具を着用する。 ・必要な時以外は、環境への放出を避ける。
安全取扱注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・容器を転倒、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の乱暴な取り扱いをしない。 ・濡れた手で触らない。 ・みだりに粉塵が発生しないように取り扱う。
接触回避	<ul style="list-style-type: none"> ・「10. 安全性及び反応性」を参照。
衛生対策	<ul style="list-style-type: none"> ・休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取り扱い後に手、顔等をよく洗う。手袋等の汚染された保護具を持ち込まない。 ・指定された場所以外では、飲食、喫煙を行ってはならない。
保管	
保管条件	<ul style="list-style-type: none"> ・容器を密閉し、換気の良い涼しい場所に施錠して保管する。

容器包装材料 ・クラフト加工紙袋、張り合わせアルミ箔袋等。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	0.13 mg/m ³ (鉱物性粉じんとして)			
許容濃度	日本産業衛生学会	第1種粉じん	吸入性粉じん	0.5mg/m ³
			総粉じん	2mg/m ³
		吸入性結晶質シリカ	OEL-C (吸入性粉じん)	0.03mg/m ³
	ACGIH	吸入性結晶質シリカ	TWA (呼吸性画分)	0.025g/m ³
設備対策	<ul style="list-style-type: none"> ・屋内で取り扱う場合には、全体換気装置を設置する。 ・密閉された装置、機器又は局所排気装置等を使用しなければ取り扱ってはならない。 ・取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。 			
保護具	呼吸器用の保護具	農薬用マスク		
	手の保護具	保護手袋		
	眼の保護具	ゴーグル、保護眼鏡、保護面		
	皮膚及び身体の保護具	保護帽子、保護服、保護靴等		

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態／形状	固体(細粒、水溶性パック入り)	
色	褐色	
臭い	無臭	
pH	7.5 (20%水懸濁液)	
可燃性	可燃性固体の区分には該当しない。	
引火点	知見なし	
見掛け比重	0.34-0.44	
粒子特性	粒径範囲 300~1700 μm	
溶解性	知見なし。	
オクタノール／水分配係数	ピロキロン:	log Pow = 1.6 (25°C)

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の条件下では安定
避けるべき条件	知見なし。
混触危険物質	知見なし。
危険有害な分解生成物	燃焼時、有害ガス(窒素酸化物)を発生する。

11. 有害性情報

急性毒性			
経口 LD50	ラット(♀)	1042 mg/kg	[区分 4]
経皮 LD50	ラット	>2000 mg/kg	[区分に該当しない]
吸入(粉じん)	知見なし。		[分類できない]
皮膚腐食性/皮膚刺激性	ウサギ	刺激性なし。	[区分に該当しない]
目に対する重篤な損傷性/眼刺激性	ウサギ	軽度刺激性 角膜混濁、結膜発赤、浮腫は9日後までに消失。	[区分 2A]
呼吸器感作性又は皮膚感作性			
呼吸器感作性	知見なし。		[分類できない]
皮膚感作性	モルモット	陰性	[区分に該当しない]
生殖細胞変異原性	知見なし。		[分類できない]
発がん性	知見なし。		[分類できない]
生殖毒性	知見なし。		[分類できない]
特定標的臓器毒性(単回曝露)	知見なし。		[分類できない]
特定標的臓器毒性(反復曝露)	区分 1(肺)の鉍物性質を約 40% 含む		[区分 1(肺)]
吸引性呼吸器有害性	知見なし。		[分類できない]

12. 環境影響情報

水生環境有害性			
短期(急性)	オオミジンコ EC ₅₀ (48hr) 0.16 mg/L に基づき区分 1 とした。		
長期間(慢性)	知見なし。		[分類できない]
オゾン層への有害性	知見なし。		[分類できない]
生体毒性			
魚毒性	コイ	LC50(96hr)	180 mg/L
甲殻類毒性	オオミジンコ	EC50(48hr)	0.16 mg/L
藻類	緑藻	ErC50(72hr)	500 mg/L

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し、関係法令を遵守して適正に処理する。 廃棄処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。
-------	--

汚染容器及び包装

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。
都道府県知事等の許可を受けた専門の廃棄物業者に処理を委託する。
使用済みの容器は、他の用途に使用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類	9
国連番号	UN3077
品名	環境有害性物質、固体、N.O.S. (ピロキロン混合物)
容器等級	III
海洋汚染物質	該当

国内規制

陸上輸送	道路法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送	船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	航空法に定められている運送方法に従う。
輸送時の安全対策	輸送前に容器に破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。 転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 車両、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備えるほか、緊急時の処 理に必要な消火器、工具等を備えておく。 該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。
緊急時応急措置指針番 号	171(低、中程度の危険性物質)

15. 適用法令

農薬取締法	登録番号 第 23172 号										
消防法	非危険物										
毒物及び劇物取締法	非該当										
労働安全衛生法	第 57 条 施行令第 18 条 名称等を表示すべき危険物及び有害物										
	<table> <tr> <td>鉱油</td> <td>30-40%</td> </tr> <tr> <td>結晶質シリカ</td> <td>10-20%</td> </tr> <tr> <td>酸化アルミニウム</td> <td>10%未満</td> </tr> <tr> <td>酸化鉄</td> <td>10%未満</td> </tr> <tr> <td>酸化カルシウム</td> <td>10%未満</td> </tr> </table>	鉱油	30-40%	結晶質シリカ	10-20%	酸化アルミニウム	10%未満	酸化鉄	10%未満	酸化カルシウム	10%未満
鉱油	30-40%										
結晶質シリカ	10-20%										
酸化アルミニウム	10%未満										
酸化鉄	10%未満										
酸化カルシウム	10%未満										
	第57条の2 施行令第18条の2 別表第9 名称を通知すべき危険物及び有害物										
	<table> <tr> <td>鉱油</td> <td>30-40%</td> </tr> <tr> <td>結晶質シリカ</td> <td>10-20%</td> </tr> <tr> <td>酸化アルミニウム</td> <td>10%未満</td> </tr> </table>	鉱油	30-40%	結晶質シリカ	10-20%	酸化アルミニウム	10%未満				
鉱油	30-40%										
結晶質シリカ	10-20%										
酸化アルミニウム	10%未満										

	酸化鉄	10%未満
	酸化カルシウム	10%未満
化学物質排出把握管理 促進法 (PRTR法)	非該当	
化審法	第2条第5項 優先評価化学物質 (プロパン-1,2-ジオール)	

16. その他の情報

記載内容の取扱い

製品安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考資料として、当該化学製品を取扱う事業者へ提供されるものであって、安全を保証するものではありません。また、ここに記載された数値は規格値や品質を保証する数値ではありません。

この製品安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品(当該製品)に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。従って、当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の目的への適合性を判断し、この安全データシートや製品ラベルに記載のものを含め、実状に応じたあらゆる適切な予備的措置を講じてください。

当社のいかなる保証違反においての責任は、製品の交換又は購入額の払い戻しに限られます。当該製品を取扱う事業者が、上記の適切な予備的措置を講じなかった場合、シンジェンタは責任を負いません。

問合せ先

担当部門 電話番号
HSEグループ 03-6221-1027

中毒の緊急問合せ先

財団法人 日本中毒情報センター

中毒 110 番	一般市民向け受信相談 (情報料無料)	医療機関専用有料電話 (1件につき2000円)
大阪 (365日、24時間)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365日、9-21時)	029-852-9999	029-851-9999

「コラトップ®」はシンジェンタ社の登録商標です。